

Realise2 プロファイルレポート

氏名: Sample 見本

完了日: 2011年 9月 23日

作成日: 2011年 9月 23日

Realise2 について

Realise2 の目的は、あなたの「強み」を見つけて伸ばし、「習得した特性」の使用を加減し、さらに「弱み」をコントロールすることです。Realise2 では、3つの次元から60の特性に関する測定を行いました。3つの次元とは活力(=エネルギーが沸くか)、パフォーマンス(=良い成果が出せるか)、使用頻度(=使う頻度は適切か)です。その測定結果を4つの象限で示します。下の図1にある円形モデルに各象限の特徴が示されています。

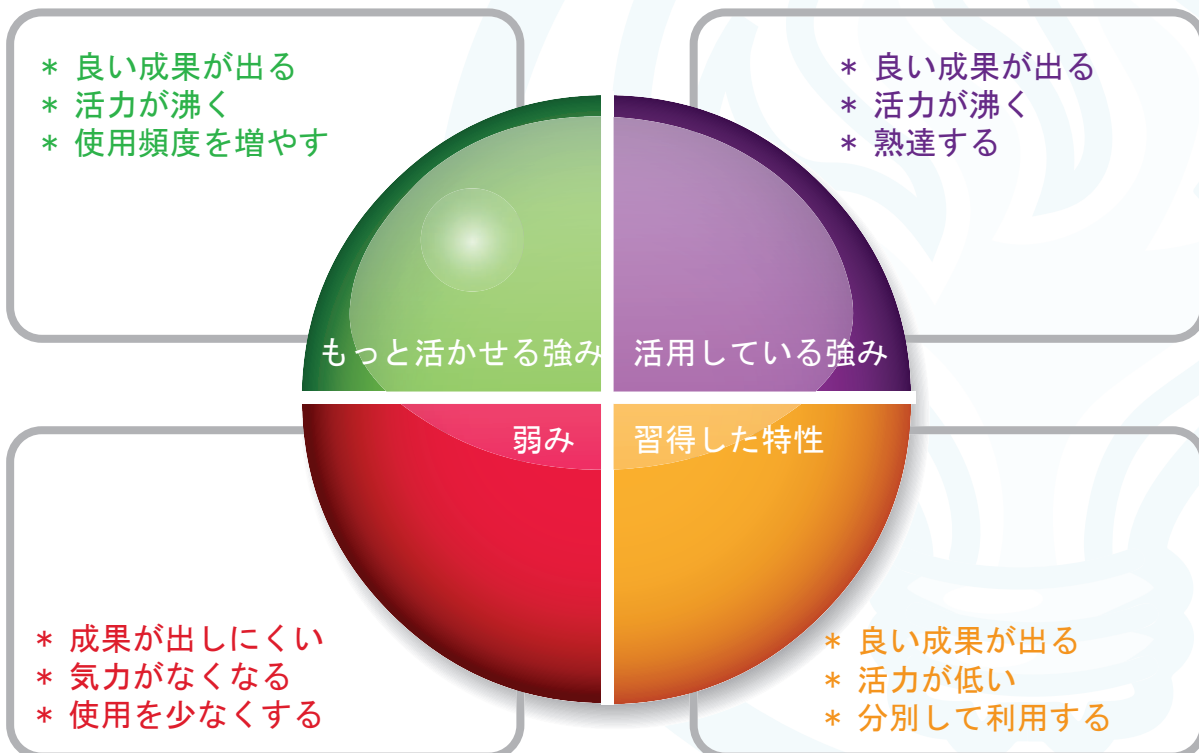


図1: Realise2 円形モデル:

活用している強みとは、「使えば使うほど活力が生まれ、良い成果をつくり出せて、よく使っている強み」のことです。最高の成果をあげるためには、この「活用している強み」を磨き上げることが近道です。意識して使いこんで、最適に利用する程度や方法をマスターしてください。

もっと活かせる強みとは、「使えば活力が生まれ、良い成果につながるにもかかわらず、今は使う機会が少なく、活かさきれていない強み」のことです。「もっと活かせる強み」は成長のための宝庫です。使う機会を増やしあなたの可能性をさらに広げてください。

習得した特性とは、「経験の中で努力して獲得したもので、良い成果をだせるのですが、活力を感じない特性」をいいます。これらの特性の中には3種類あります。1つは学習中の特性です。成長させたい特性はさらに努力し磨きこんでください。2つ目は当たり前になっている特性です。継続して使ってください。3つ目は使いすぎている特性です。使いすぎると疲弊します。疲弊しない程度に利用する工夫をしてください。

弱みとは、「成果をあげることが難しく、使おうとすると気力が消費されてしまう特性」をいいます。仕事を遂行するうえで、あなたの「弱み」が様々な問題や不安を起こしてしまう可能性があります。他の人の協力を得るなど「弱み」を障害とさせないような工夫をしてください。

Realise2 プロファイル

あなたのテスト測定結果は以下の Realise2 プロファイルに示されている通りです。4つに分類されたカテゴリ毎に特性を表示しています。測定結果によりですが、レポートには最大7つまでの「活用している強み」と「もっと活かせる強み」、最大4つまでの「習得した特性」、最大3つまでの「弱み」が記載されます。測定結果によってはこれらの数より少なく表示されることがあります。プロフィールに記載された特性について、後で一つずつ詳しく説明しています。

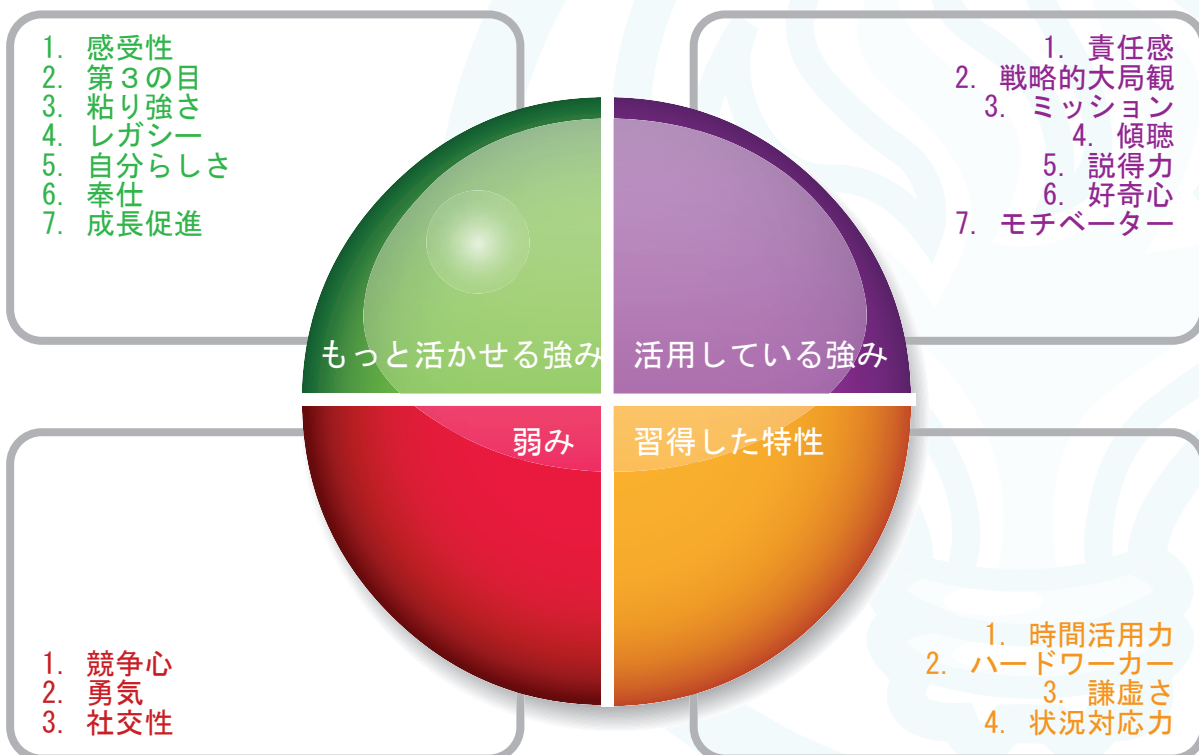


図2: Realise2 プロファイル

活用している強み

「活用している強み」は、使えば使うほど元気が湧き、高い成果をあげる事ができ、さらに日常的によく使っているものです。これらはさらに利用して、熟達したレベルまで磨き上げることが容易にできるものです。実力をさらに伸ばすことができます。あなたの「活用している強み」は点数の高い項目から順に以下の通りです。

1. 責任感

あなたは、自分の発言に責任を持っています。一度約束したことは、何が何でも果たそうと最大の努力をします。決してほかの人を責めたりはせず、自分の行うことに責任を持ちます。周りの人からは、「約束したことや成すべきことをきちんと果たそうとする責任感の強い人」と思われています。

2. 戦略的大局観

あなたは、広い世界の変化にとっても敏感です。その変化が、あなたの目的や計画に影響を及ぼすことを知っているからです。大局を見据えることで、長期計画の考案や変更を効果的に行うことができます。大きく変化をとらえたうえで、将来起こりうるどんな状況にも対応できるように準備しておこうとするのです。

3. ミッション